



振り出し



1回  
休む

実母が早くに倅くなり、継母と異母妹に虐げられて育つ



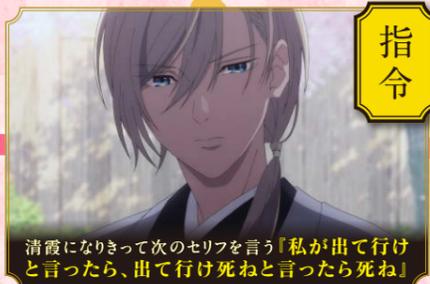
振り出し  
に戻る

「こんなお茶、淡くて飲めないわ!」  
異母妹の香耶にお茶をかける



1マス  
進む

幸次からミルクキャラメルをもらう



指令

清霞になりきって次のセリフを言う「私が出て行けと言ったら、出て行け死ねと言ったら死ね」



1マス  
進む

生まれ育った斎森家を出て、おにぎりを食べながら久堂家へ



4マス  
戻る

冷酷無慈悲と噂される孤高のエリート軍人・久堂清霞の元に嫁入り命じられる



3マス  
戻る

自分には異能がないことが判明した幼き日のことを思い出す



6マス  
戻る

早起きをして朝食を作るが、毒を入れたと疑われ食べてもらえなかった



もう一度  
サイコロを  
振って進む

清霞に味噌汁を「…美味しい」と言ってもらえて涙が落ちるはじめて誰かに認められた…!



1回  
休む

突然「初めてのデート」に誘われる自信がなくて1回休む



1マス  
進む

甘味処であんみつを食べる



気が済む  
まで、このコマ  
にいる

清霞「よそ見をしてはくれるなよ」



2マス  
進む

ゆり江にお化粧をしてもらう



6マス  
進む

清霞からつけ櫛の贈り物をもらう



1マス  
進む

清霞への贈り物を考えるゆり江の助言で「組み紐」を手作りすることに



1回  
休む

街で偶然、香耶と出会う



もう一度  
サイコロを  
振って進む

真実を知られたらこの幸せを失ってしまうと決めつけていた美世だが、清霞は全てを知っていた



3マス  
進む

幼い頃、自分に寄り添ってくれた使用人の花と再会する



6マス  
戻る

香耶に酷いことを言われ、ふさぎ込んでしまう



サイコロを振って  
奇数なら6マス進む  
偶数なら6マス戻る

自分には異能がなく名家の娘らしいことは何一つないことを告げる清霞の答えは…



指令

清霞になりきって次のセリフを言う「私が、お前に、ここにいてほしいんだほかの誰でもなく…」



上がり

手作りの組み紐を渡す清霞「美世これで、私の髪を結ってくれるか?」

みんなに「がんばったね」と言ってもらう

わたしの  
幸せな結婚

追憶双六

第一章 出会い篇



好きなキャラクターを  
コマにして遊びましょう

